

概要版 - 住民説明会（鶴居村 - 2003 年秋）

鶴居村 回数 9 回 参加者 226 名

H15/9/29 13:30	上幌呂コミュニティセンター	参加者：15 名	H15/9/30 9:30	中久著呂コミュニティセンター	参加者：6 名
H15/9/30 19:00	下幌呂母と子の家	参加者：21 名	H15/10/1 13:30	下久著呂老人寿の家	参加者：11 名
H15/10/1 19:00	下雪裡老人寿の家	参加者：18 名	H15/10/2 13:30	支雪裡老人寿の家	参加者：9 名
H15/10/2 19:00	幌呂中学校屋内体育館	参加者：35 名	H15/10/6 13:30	茂雪裡コミュニティセンター	参加者：23 名
H15/10/6 19:00	鶴居村総合センター	参加者：88 名			

主 な 質 問 ・ 意 見	主 な 説 明 内 容
○新市建設計画に関すること ▼質疑 合併したからといって、この（新市建設計画の）イメージどおりにいけるといった保証は無いのではないか。 ▼質疑 釧路市に大きな企業誘致などがあって、もっと産業が活性化すれば税金は入ってくるし、色々な面で向上するけども、人口 20 万人を割ってしまった今の釧路市に一体何があるというのか。合併して約 4 万人増え 23 万人になったからといって、今まであったものを足しただけで、新たなものは何も無い。そのような状況で、概要版に示されている新市のプロジェクトのような夢のある贅沢なことをやっていたら、一生懸命貯めてきた鶴居村の基金は、そのプロジェクトのために吹き飛んでしまうことになってしまうのではないか。まるで夢を見るようなことを書いているが、実質、合併して何がよくなるのかがよく分からない。合併反対ということではないが、もっと建設的なことが何かなければ本当に夢はないと思う。紙上でプロジェクトをみて凄いとと思うけれど、実際にそれをするということはお金がかかるという事だ。 ▼質疑 地方交付税の 10 年後までの推計をしているようだが、もっと長い期間で考えるべきである。	村長 この概要版に示された内容に全く誤算が無いとは言いきれないが、現状の社会情勢などを細部にわたって検討していくと、将来、6 市町村が合併した時には、今よりもよい自治体になっていくという方向が一応示されている。このことをどう捉えるかは、住民の皆さんの冷静で客観的な判断を待つしかない。 村長 一次産業も大事だし、これからは観光産業も非常に大事な産業だと言われている。したがって、新たに企業が進出して、そこから活性化されるということを期待することは困難であるけれども、現状の姿から計り、より良い方向を見出すと言うことで作られたビジョンがこの「概要版」である。鶴居村のように一次産業が中心であるとするならば、一般工業的な企業と違って、目に見えて明日から良くなるということにはなかなかないと思うが、例えば合併したとして 5 年、10 年先に、農業であれば経営の安定に向って、住民の皆様がこれから新しい市の行政の推進を図り、充実した方向にもっていかねばならないと思う。 村長 地方交付税について、毎年 5 % ずつ落ちて行くとお尋ねだが、平成 23 年度の 5 % の落ち込みが大体ピークではないかと見ている。地方交付税は、全国の市町村、都道府県も財政調整機能を持っている。鶴居村も税金は 3 億円しかないが、国の一定のルールで計算して行くと、かかる行政経費

概要版 - 住民説明会（鶴居村 - 2003 年秋）

主 な 質 問 ・ 意 見	主 な 説 明 内 容
	は仮に 20 億円とすると、歳入は 3 億円しかないから 17 億円については、全国で最低必要とする行政経費のアンバランスがないよう調整するというのが地方交付税の性格である。今心配している点は、合併して基礎的自治体を 1 万人にしようとしていること。そうすると全国では、現在の 3 倍は不交付団体になるが、これを国は期待している。そうすると残った市町村に対する財政調整機能ということであるため、全くなくなることでは無い。 合併特例債について、496 億円を特例債として認め、これの償還に入ると、元金償還金の 7 割を交付税で措置するということが認められる。地方交付税も合併する年の年度に交付となった交付税を 10 ヶ年保障し、11 年目から 5 ヶ年間は激変緩和するため徐々に削減して行く仕組みとなっている。
▼質疑 今後の地方交付税の落ち込みはどのようになるのか。	村長 平成 23 年には、40%から 47%は落ち込むものと考えている。今年も対前年比 8 %落ち込んでいる。
▼質疑 合併したら、10 年間は現在の交付税の額が保障されるのか。	村長 一定の計算方法により算出された交付税額を合併後 10 年間は保障することになっているが、その先については、段階的に、本来新市が給する交付税額になる。
▼質疑 現状のままだと平成 23 年度以降、中央からの補助金なくなるということだが、合併した場合は、平成 23 年度以降も中央から農業関連の補助金（地方交付税等）はもらえるのか。	村長 平成 17 年 3 月までに合併した場合、平成 16 年度で算定した地方交付税の額を合併後 10 年間は保証するということになっている。合併しなければ、毎年地方交付税は減額されていく。
▼質疑 合併したら地方交付税は減らないというが、額を保障するとは言っていない。お金のことよりもこの地域をどうするかということを真剣に考えてもらいたい。	村長 算定した交付税は保障すると聞いている。合併しても交付税の保障がないとすれば、新市建設計画の過ちになる。
▼質疑 鶴居村の自立シミュレーションはマイナス面ばかりで、概要版はプラス面ばかり書いてある。どちらで判断すればいいのか。	村長 自立シミュレーションの中で「公債費」となっているのが、借金として返済しなければならない費用。「投資的経費」とは、道路の建設費や各種施設の改修、新築に要する費用のこと。
▼質疑 合併協議会は合併を推進しなければならない側だから、概要版は	村長 自立となればマイナスになることは間違いないし、概要版は嘘を書いているわけでもなく、そうなる

概要版 - 住民説明会（鶴居村 - 2003 年秋）

主 な 質 問 ・ 意 見	主 な 説 明 内 容
かなり玉虫色のな冊子になっているような気がする。逆に鶴居村の財政シミュレーションは、かなり悲観的で厳しく現実をよく見据えた正確な数字で書かれていると思う。（概要版は）かなり楽観的で、本当にこれでよいのかと逆に不安が強い。 ▼質疑 自立シミュレーションを見ると（自立に向け）何とかならないかという気持ちになる。自立シミュレーションでは段々財政が悪くなるということだし、かといって合併しても（住民サービスは）悪くなると思っている。説明のように（合併後）鶴居村が持ち込む基金で、最初のうちはしのげるかも知れないが、長い目で見れば、結局は悪くなっていくと思う。 自立シミュレーションの中には、財産もあれば借金も書かれていると思うが、詳しく中身を教えて欲しい。 ▼質疑 村民一人当りの行政経費は大体いくら位になるのか。 ▼質疑 この資料では比較にならない。村の資料は、利用料や手数料を上げ、更に財政を切り詰め、基金まで取り崩してどうなるかを示している。そうではなく、今のままの生活でいった場合、10 年後はどうなるのかを示さないと説得力がないのではないか。 ▼質疑 自立していく場合の歳入面で、交付税等が削減されていくと想定しているが、交付税や補助金に替わる制度や財源が新たに設けられていかなければならないと考えるがどうなのか。 ▼質疑 農業関連の奨励金は年間どのくらい交付されているのか。	と予測されることを示している。 村長 合併協議会には、村長を含め本村から 19 名の委員が参画している。それぞれ小委員会という組織に所属し、多いところでは 12 回もの会合を持ち、その中で議論に議論を重ねながら、これらの数字をまとめてきた。今皆さんから出されたような議論もかなり展開されてきた。その結果、ほぼ客観的に現状を捉えると、こういう方向でいけるであろうと言うことで集約されたのがこの概要版である。今の情勢から背景を十分見極めて、客観的に積上げたものであるから、信頼せざるを得ないと思う。 村長 現在の予算規模だと約 170 万円。仮に自立を選択した場合の予算規模を 25 億円とすると約 90 万円。 村長 痛みも感じてもらい、我慢するものは我慢してもらおうということにしているし、職員の人件費も削減して、尚かつ、こういう状況であるということを認識していただきたい。 村長 三位一体の改革によって地方に税源委譲するといっているが、基礎的自治体の要件を 1 万人以上と想定している中で、安定した財源として確保できない。また、住民の皆さんに新たな負担をシミュレーション以外の部分で求めていくことは困難と考えている。 村長 （農家 1 世帯当たり）年間約 100 万円。合併しなかった場合でも、乳質改善奨励金は存続させる。合併した場合は（将来的には）無くなる可能性がある。

（注）住民説明会での主な質問や意見等を事務局で要約したものです。

概要版 - 住民説明会（鶴居村 - 2003 年秋）

主 な 質 問 ・ 意 見	主 な 説 明 内 容
▼質疑 現在、鶴居村で持っている財産、例えば基金や大楽毛の村有地などは合併したらどうなるのか。また、合併前にそれらを村民に分配するなどといったことは無いのか。 ▼質疑 全く基金を持たずに合併する市町村もあるのか。 ▼質疑 各市町村の新市に持ち寄る財産や負債の内容を教えて欲しい。 ▼質疑 村が要請している基金の取扱いについては、他の自治体の反応はどうか。 ▼質疑 自主財源が乏しく、このままだと 10 年ぐらいで基金もなくなるということだから、合併の方向へ向っていくしかないのかとも思う。ただ、そうなった場合、合併後も我々の意見が通るような形で対策を講じてもらいたい。 ■意見 合併をきっかけに、農地保全の対策がもっと進むようにして欲しい。 ■意見 合併の是非についてはまだ賛成とは言えないが、将来を考えたときに財政シミュレーションを見る限りでは合併の方向も必要かと勉強させられた。	村長 財産等は合併時に全て（新市に）持ち込まなければならない。 村長 額に差はあるが、全ての市町村で基金はある。それらは全て新市に持ち寄ることとなっている。 村長 財産については出資金を含め、釧路市で約 68 億円、釧路町は約 14 億 3 千万円、阿寒町は約 2 億 4 千万円、鶴居村は約 60 億 5 千万円、白糠町は約 18 億 2 千万円、音別町が約 23 億 1 千万円である。 一方、借金（地方債）は、釧路市は約 1,030 億円、釧路町は約 107 億 5 千万円、阿寒町は約 87 億 6 千万円、鶴居村は約 46 億 1 千万円、白糠町は約 111 億円、音別町が約 61 億 6 千万円となっている。 村長 他の自治体は理解してくれている。特に釧路市は良き理解者である。 村長 せっかく苦労して貯めた基金を、合併することによって新市に無条件で使われることに不満があると言うご意見を多くの皆さんからいただいていたので、持ち寄った基金の一部を鶴居村の地域振興のために優先的に使用することを 5 市町の首長に申し出ており、大方了承をいただいている。

（注）住民説明会での主な質問や意見等を事務局で要約したものです。

概要版 - 住民説明会（鶴居村 - 2003 年秋）

主 な 質 問 ・ 意 見	主 な 説 明 内 容
<u>○住民サービスや負担に関すること</u> ▼質疑 仮に合併して、中心が釧路市に移ってしまうと、上幌呂が一番離れているわけだから、きめ細かいサービスが受けられないのではな いかと心配だ。 ▼質疑 今なら、「台風だ、大雪だ」となったら、職員がすぐ飛んできて くれる。これからはどうか。 ▼質疑 お金がないのだから、どうしようもない。国は1人当たり 500 万 円余りの借金を背負っている状態であり、その問題を解決しない と、いくら地方で合併について悩んでいても暮らしが楽になるわけ がない。経済大国になったのはいいが、その後の経済の見通しが甘 すぎたのではないか。我々も生活水準を下げることを考えなければ これからは生きていけないのではないかと思う。 ▼質疑 自立した時には、住民が頼んだ時に（行政が）すぐに対応しても らえるが、合併した場合には、（行政のサービスが）隅々まで行き 届かないのではないかというハンデと、合併後の議員数でも鶴居選 出議員が少ないということは、目が届かない部分が多くなるのでは ないかと心配に思う。 ▼質疑 今まで住民サービスでは、恵まれていただけに合併した場合に不 安がある。	村長 合併により、周辺が寂れるということは「昭和の大合併」の時に、北海道の中でも数多くの事例があ った。これからは、周辺の衰退は避ける、させないということが、これから説明しようとしている（概 要版の）中身だ。基礎としているものは人口ではあるが、雇用の拡大という問題や、農業の振興も積極 的に図るということによって、周辺の寂れは防げると思う。また、新しい市になった時には、そのよう な行政の施策を講じてもらわなければならないと思う。 村長 （概要版では）今ある役場は、「（仮称）総合行政センター」となり、行政機能は低下させないとなっ ている。また、低下させることがあっては合併する意味がない。 村長 生活水準を今までどおり維持または上げていく事は難しい。逆に下げることを考えていかなければな らない。合併してもしなくても、使用料等は値上げされ、合併しなかった場合には年間4～6万円程度、 その他、補助金であるとか色々な面も協力していただくことになり、かなり痛みが身にしみと思うが、 それでも、年間5億円前後の赤字はどうしても避けられない。 村長 合併後、本所は釧路市役所に置くが、現在の町村役場を「（仮称）総合行政センター」とし、市役所 の部長級の役職をセンターの長として配置し、旧市町村の実情を訴えていく窓口にすることを検討して いる。「目が届かない」という心配であるが、合併後でも、現在の状態とそう遜色のない行政サービス が提供されるのではないかという期待はある。 村長 どこの地域に住んでいても等しくサービスを受けられるよう、新市では取り組むこととしている。そ うかといって、完全に不満が解消されるかというと、必ずしもそうではないかもしれないが、住民がそ

概要版 - 住民説明会（鶴居村 - 2003 年秋）

主 な 質 問 ・ 意 見	主 な 説 明 内 容
▼質疑 合併した時に、色々な面で今と同じような行政サービスが行えると言うのであれば合併に賛成も出来るが、合併により地方が阻害され、例えば、地域の会館の管理運営を自分たちで全部やりなさいと言ったようなことになると非常に困ってしまう。本当に今まで鶴居村で行ってきたことと同じ住民サービスが受けられるか心配だ。 ▼質疑 合併して良くなったり、本当にこの（概要版の）ようになったりするのか分からない。机の上での積み上げでは良くなるのだろうけども、鶴居村で今まで色々行政でやってくれた住民サービスが、新市になっても出来るという確証があるのか。 ▼質疑 公共料金や手数料など、今まではかなり優遇されてきたと思うので、自立のためには、値上げも我慢できる。そういうところを多少負担していても（自立のために）何かもっと考えられることがあるのではないかと思う。 ▼質疑 合併した場合、10 年後からの住民負担は自立した場合より厳しいものになるのではないか。 ▼質疑 合併した場合、公共料金が値上げされるとすれば心配だ。 ▼質疑 本村の介護保険料は高いが、合併した場合の保険料は平均化され	れぞれ力を合わせて頑張っていこうと言う概要版の内容になっている。 村長 本村が実施してきた高度な福祉サービスなどを、（合併後）10 年間は（現状のまま維持することを）考えてもらっている。ただし、福祉施設については、合併後、運営補助を廃止することも含め検討しているところだ。 また、地方分権が進み、身近な事は自己の責任で行いなさいという方向に段々なってきた。今までのように何か言えば行政から補助金がもらえる、あるいは、色々とお金の面倒も見てくれたということとは、もうこれからは出来なくなるという方向にあることを、どこの地域にいても思っていたきたい。 村長 鶴居村は、他の 5 市町に比べて福祉的な面や酪農振興施策の面で図抜けている。合併したら、今より有利になるという事はないが、そこで（合併後）10 年間は（鶴居村の持ち込む基金のうち）特別枠として約 35 億円を鶴居村で優先して使えるように申し入れたところである。 村長 負担を上げても、年間 5 億円位の赤字が年々続く。その赤字を埋めるために基金を取り崩すことになるが、その基金も十数年後には無くなってしまうものと推測している。 村長 10 年後の国内経済に期待したいが、いずれにしても合併後 10 年間程度で新市が様々な面で力をつけていくことが求められる。 村長 水道料などは合併後 5 年間程度の調整猶予期間がある。自立していく場合、子供のいる家庭では 65,000 円程度の値上げを試算上出しているが、住民の皆さんにも痛みが伴ってくると思われる。 村長 保険料は下がり 6 市町村全体で平均化される。第 3 段階で村の年間保険料は 71,300 円だが、釧路市

概要版 - 住民説明会（鶴居村 - 2003 年秋）

主 な 質 問 ・ 意 見	主 な 説 明 内 容
ていくのか。 ▼質疑 介護保険のことだが、合併したら少し保険料が安くなるが、最近の釧路市の状況を見ると、介護の必要があっても入る施設が無くて非常に困っており、鶴居村は良いとよく聞く。施設をたくさん作るとか、入所しやすくするとかするためには、その分だけ高くなるのではないか。 ▼質疑 営農用水事業はどうなるのか。 ▼質疑 乳質改善奨励事業は 10 年後どうなるのか。 ▼質疑 新市になれば、車庫証明は必要になるのか。 ▼質疑 現在、鶴居村の交通の面で考えれば、バスへかなりの補助をしているのではないか。 ▼質疑 村独自でやっていくと保育園児を持つ家庭だと年間 65,000 円程度の負担と試算されているが、合併した場合には、どのくらいかかるのか。	では 41,500 円であり、平成 18 年度からおよそ釧路市程度の保険料になるものと思われる。 村長 介護保険について、鶴居村では、施設待機者がほとんどいなくて、釧路市には何百人もいるということと、もし合併した場合には、鶴居村の施設待機者が増えるのではないかとのご心配だが、それについては、協議会では話し合われていない。18 年度の介護保険計画を策定する時点で、施設入居基準が出てきて 6 市町村の中で一番重度の方が介護保険施設に入居するもので、不公平なく入ることが出来るものと考えている。 村長 合併前に使用料金は決められない状況である。合併後 5 年程度をかけて調整されていくと思われる。各自治体によって水道の整備水準が違いため、合併後すぐに一律の料金設定は定められないと思う。 村長 乳質改善奨励事業を新市全体の施策として村が持ち込む財源を活用する方向で実施することとした。新市で取り組むことによって、農協の合併問題にも配慮できると思う。 村長 必要になると思われる。 村長 交通機関については、鶴居村、阿寒町ではバスの他に公共交通機関がないことから、この（調整方針の）とおり（合併後も現行のまま）認めていくことになっている。 高校通学については、村では、毎年 500 万円程をバス会社に支援している。これで高校通学する子供たちへの費用も安くなっている。これについても（合併後）10 年間は鶴居村の特色として継続できるよう考えてもらっている。 村長 具体的な数値は出ていない。認可保育所に通うと所得金額により保育料が決定されるが、鶴居村のように無認可保育所では定額の保育料となり現在 1 万円となっている。この概要版で言うと、所得税の納入額が 11 万円から 14 万円の人の対比表であるが、釧路市では 3 万 7 千円となる。

概要版 - 住民説明会（鶴居村 - 2003 年秋）

主 な 質 問 ・ 意 見	主 な 説 明 内 容
▼質疑 人口の多い鶴居市街のようなところでは、住民の負担だけでも（会館等の）維持はできるだろうが、当地域のように農家が３、４件しかないような小規模な地域では会館の維持は難しい。 ■意見 今まで行政サービスが恵まれていただけに、合併をしなくて負担が増えるのは仕方がないと考えている。そこで何が大事かと思うと、村民が負担してでも村を維持して行こうという合意が村全体で得られるかどうかだと考えている。そういう気持ちが高まるのではないかなと思う。 ■意見 合併協議の中で、村の基金を活用して管内の乳質改善に貢献することは素晴らしいことだと思う。 ■意見 仮に合併した場合、交通の足となるバスなどがこれまで同様に確保されていくのか少々心配である。 ■意見 バス会社も採算があわなければ、いつでも止めてしまう。そのようなことになるとう、鶴居村は大変不便になってしまうので、その点十分配慮してほしい。 <u>○行政組織・機構に関する事</u> ▼質疑 職員は現在の役場に残り、これまでの業務を行うことになるのか。	村長 会館を大規模改修する時まで地元で負担することにはならないと思う。 村長 合併後は旧町村役場を「(仮称)総合行政センター」とすることで協賛を進めている。そこで行う業務については、例えば、市長が勤務する釧路市には、総務部や企画部などを配する。鶴居村は農業の中

概要版 - 住民説明会（鶴居村 - 2003 年秋）

主 な 質 問 ・ 意 見	主 な 説 明 内 容
▼質疑 合併後は（役場が）出張所のようになるようだが、人員の配置についてはどうなるのか。 ▼質疑 幌呂出張所が廃止されると、この地域としてもかなりの不自由を感じる。 ▼質疑 合併すれば、職員を減らし 20 数億円も節約するなど（行政）効率が良くなるといっているが、もっと合併するメリットをこの中（概要版）で住民に伝えてもよいのではないか。合併して本当によいと思えるものが何も無い。合併すれば、もっと公共料金などが安くなるものだと思っていたし、住民サービスも向上するものと皆な期待して、それならば合併も仕方ないと思えるはず。少なくとも、ここで示されている内容では合併するメリットが何も感じられない。	心としている地域であるから、産業振興部的なところを配置する。また、水産が中心であれば白糠町や釧路町に水産部を置くとか、観光面であれば阿寒町に関係部署を配置すると言ったような主管的な行政事務を置くことも可能であると思う。しかし、このように仕事を分散させると、せっかく合理化を図るのであるから、なかなか容易ではない。そうであれば、日常の窓口業務や本庁から下ろされる各種行政の細分化された仕事を総合行政センターで行うということも考えられている。したがって、鶴居村にいる 59 人の職員が、全てそこに在住していなければならないかと言うことはこれからの検討になってくる。 村長 どのような人員配置にするのかまではまだ検討していない。どの範囲まで（仮称）総合行政センターで業務をまかなうのかによって色々状況は違うが、例えば、総務部などは市長の勤務する事務所にあった方が良いが、他の部は各町村に分散しても良いのではないかと思う。そういうことで、本村職員 50 数名が 30 名になるのか、逆に 60 名に増員になるのか、これから具体的に検討していくことになる。 村長 道路網が整備された今日では、出張所へ行くのも、役場へ行くのもそんなに差がないと思うので、不自由とまではいえないのではないかと。 村長 行政サービスは低下しないし、させない。合併して中心部だけが繁栄して、外れた町村は衰退していくという心配が生じないように色々な対策を考えている。 ひとつには、旧町村の役場を支所的な役割をする「（仮称）総合行政センター」という形にしていく。職員の身分は全員保証されるが、新市になると業務の量も多くなると思われるので、現在の役場の職員全員がそのまま鶴居村役場に勤務になるかはわからない。 例えば、総務部や企画部といった主要な部署は市長が在所する役所に置く、鶴居村は、酪農が基幹産業だから産業振興のための農林関係などの業務は鶴居村で行う、水産関係は釧路町の役場で行う、一般の窓口業務は従来とおり町村役場で行うといったようなことも考えられる。また、別の考え方では、主要な事は本庁一本で行い、縦割り行政センターに業務をさせる。行政センターの最高責任者には、新市の部長クラスをあてることにしている。このようなことで地域の格差や住民の不安・不満がないようにし、合併しない前と同じような行政機構にしていこうと、合併協議会で議論してきたところである。

概要版 - 住民説明会（鶴居村 - 2003 年秋）

主 な 質 問 ・ 意 見	主 な 説 明 内 容
▼質疑 新市の施策では、雇用対策が重要といいいながら、一方では議員数や職員数を減らすといった合理化を行っている。減らされた議員も職員も住民であり、地域に住んでいるといったことを考えると矛盾した内容になっているのではないか。	村長 特別職の削減はいたしかたないが、一般職は合併後も身分が保証されている。世代間格差が広がらないよう 25%採用(4 人退職して 1 人採用)とし、職員の自然減による人員の削減をすることとしている。
▼質疑 合併した場合、小中学校や役場職員はどうなるのか。それらのことで鶴居村が過疎にならないのか。	村長 合併した場合、現行のまま新市に引継がれていく。 ただ、新市の職員は合併後 5 年間退職職員のおよそ 25%程度の採用に抑制していくこととしている。 合併した場合、役場は「(仮称) 総合行政センター」になり、センターのトップは市の部長職程度の職員が配置される見込みである。新市での行政事務機構がどうなるかわからない。しかし、一部の役場職員が本庁勤務となる場合も考えられるが、村からの通勤で対応すれば人口減少は最小限度で抑えられると思う。
▼質疑 合併ありきの場合は役場の職員が消滅し、それに伴い学校の児童生徒や教員が減少し、全体の人口が著しく減少していくと思う。商店の経営も苦戦が予想され、過疎化が速く進行していくと思う。そうすると住民の生活基盤が崩れていくと思われるので、慎重な意見の収集をしてほしい。	村長 合併した場合、職員の身分は保障されている。新市の行政機構で、役場は「(仮称) 総合行政センター」となる予定だが、地域の特性にあった事務ができるようになれば、そのようなことにはならないと考えるし、周辺部が寂れることのないようにしていかなければならない。
▼質疑 (合併後に地域の) 要望などを提案できる場というものが必要ではないかと思うが、そういうものが作られるのか。	村長 それは、身近な問題として心配なことだろうと思う。合併協議会では具体的な協議は進んでいないが、(合併後の) 旧市町村役場は「(仮称) 総合行政センター」というものにしていこうと考えている。ただ、そこに配置される職員数などは具体的には話し合われていない。 皆さんの声をどのようにして届くようにするかということに関しては、合併すると「地域審議会」というものを作って、それを構成するメンバーの中に学識経験者や各種団体の責任者などを充てて、その新しい組織から、新しい市の市長や議会に積極的に申し入れるという構想を考えていこうとしている。
▼質疑 合併しない場合の西部消防組合はどうなるのか。鶴居村の消防体制はどうなるのか。	村長 新たに新市と一部事務組合を設置して、鶴居支署として機能していくことになると思う。

概要版 - 住民説明会（鶴居村 - 2003 年秋）

主 な 質 問 ・ 意 見	主 な 説 明 内 容
○<u>議会に関すること</u> ▼質疑 議会議員の数は、合併から2年間は108人で、その後は38人になるという説明だが、38人の根拠は何か。 ▼質疑 鶴居村の合併後の議員数はどうなるのか。 ▼質疑 議員の選出方法について、今選挙区を設置していないが、合併した場合には細かい区割りをする必要があるのか疑問である。 ▼質疑 仮に合併した場合、特例で議員は2年間在任できるが、その後議員の定数が減る中で新市の議会で鶴居村の声が届いていくのか。 ▼質疑 合併すると、地域代表の議員が1人出るか出ないかという状況で、農業政策についての地域の意向が反映されるのか大変心配している。 ■意見 議員については、（鶴居村から）1人は必ず出さないと、地域の声が反映されないと思うので何とかして欲しい。	村長 合併時の2年間は合併特例法の在任特例を採用し、現在の6市町村の議員はそのまま在任するので108人。その後は、法定定数として人口から算出されるので38人となる。 村長 合併協議会では、在任特例の措置で2年間は現在の議員全員が新市の議員になるが、合併した2年後の選挙で新市全区での選挙となれば、本村から議員を出すことは困難だと思われる。 現在、議長が現在の市町村を選挙区とするよう要請を出しているが、まだ結論は出ていない。合併した場合、旧市町村が新市に馴染むまでの4年間は何とか配慮して欲しいということで要請している。 村長 議員の定数は、（合併後）2ヵ年だけ全員が在任して継続する。しかし、（合併してから）3年後は選挙区を設けることとし、旧市町村の区域、例えば鶴居村から最低1名でも確保する選挙区にするか、東、西、南、北、中央区という5つの選挙区にするか協議中である。 村長 6市町村の議長協議で（選挙区について）全体合意されるのが望ましいと考えるし、（鶴居村の声が届けられるよう）期待するしかない。 村長 農業は大事な仕事で、みんなで生産して供給してやっている。このことについても、新市建設計画ではしっかりと基本的な位置付けをしているので、これをないがしろにすることなどはできない。

概要版 - 住民説明会（鶴居村 - 2003 年秋）

主 な 質 問 ・ 意 見	主 な 説 明 内 容
■意見 議員の定数は、（選挙区を）5 区に分けて地域の代表が複数選ばれるよう協議を更に進めていただきたい。 ○合併の判断に関すること ▼質疑 最終的な合併へ向けての決断はどこで行うのか。 ▼質疑 判断方法として、村政懇談会での意見集約がいいのか、住民投票を行うのか、慎重にことを進めなければいけないのではないか。 ▼質疑 合併の是非を問うような住民投票は行わないということだったが、個々の意見があるから、村民の意思という判断材料を得るためにも住民投票を行った方が良いのではないか。 ▼質疑 鶴居村として、合併するのかもしれないのかについて住民の意思表示をまとめる機会が別にあるのか。	村長 11 月の村政懇談会までに地域の意見集約をお願いしたい。それが叶わないとすれば、12 月中にでも別な機会を設けたい。 村長 住民投票や意向調査については、釧路町や阿寒町で実施すると聞いているが、本村では、一昨年から現在まで説明をしてきており、数多くの資料、情報を提供してきているので、そこ（住民投票や意向調査）までしなくても、何とか皆さん方に将来の鶴居村について客観的に見極めてもらうことができるのではないかと考えている。住民投票や意向調査を実施し、その結果に拘束されとなると、客観性というものが失われ、主観的に「賛成・反対」という判断がなされるのではないかという気がする。 村長 問い掛けの方法は色々あると思う。単純に合併に反対か賛成かということでやる方法もそのひとつだが、それが基準になって、仮に「合併反対」という答えが多かった時に、それでは鶴居村は不参加に決めたということではよいのか。自立シミュレーションで示したように、財源として一番頼りとしている地方交付税が年々減らされていて、今までの蓄えがあるから何とかやっていけるのであって、自立するのは難しい状況だということを認識していただきたい。住民投票はひとつの手段、判断する材料かもしれないが、そのようなことは避けられるものなら避けたいと思っている。出来れば、地域の皆さんで、今回お渡しした資料を用いて、じっくり話し合いをしていただきたい。 村長 11 月に行う村政懇談会までに、おおよその意見集約をお願いしたいと思う。ただし、その時点で集約が難しいということになれば、合併協議会が意思表示を求める 12 月までに、全村的な集約を行いたいと考えている。

概要版 - 住民説明会（鶴居村 - 2003 年秋）

主 な 質 問 ・ 意 見	主 な 説 明 内 容
▼質疑 奈井江町では、合併の判断に際し、15 歳以上を対象に住民投票を行うようだが、鶴居村はそのような事は考えていないのか。 ▼質疑 合併ありきの考えで議論されているのか。合併の是非は村民投票によって意思決定してほしい。 ▼質疑 村民投票を実施しないとすると、最終的には村民が反対しているという意見は相対的にどう取りまとめるのか。 ▼質疑 村政懇談会までに合併可否の意思表示を地域で出せということだが、個人の意思を尊重するという考えから、住民投票は大袈裟だが、アンケート調査を行うような考えは無いのか。 ▼質疑 村政懇談会で集約するというが、意見は言えても取りまとめるような場ではないと思う。誰がとりまとめるかと言えば村長や議会がとりまとめることになるのではないのかと思う。村政懇談会では冷静な判断はできないと思う。 ▼質疑 最終的には村民が決めることではないということなのか。	村長 鶴居村では考えていない。奈井江町で行われる住民投票は、任意協議会から法定協議会へ参加に対する賛否の投票と聞いている。 村長 住民投票は民主的な判断方法といえるが、住民投票に持ち込むことは現時点では考えていない。住民議論の中で合意形成を図りながら判断したい。 村長 11 月に開催する各地区の村政懇談会で意見の集約を期待したいと考えている。今回の説明等が不十分で理解されていないとすれば、各地区であらためて懇談会を開催していただければ、あらためて各地区に出向いて議論を展開しながら、合併参加、不参加の態度を決定する方向で進めたい。 更に村政懇談会で意見集約できなければ、もう一度 12 月上旬に村内 3、4 箇所の集約した場所で、議論を重ねていきたいと考えている。 村長 市町村合併をめぐる様々な情勢背景を客観的に判断していただき、感情的にならないように冷静に対応していただくためにも、住民投票やアンケート調査は行いたくない。 村長 各地域でまとめきれなければ、我々が各地域の意見を集約したうえで、最終的に村長が議会と協議して決断するしかないと思う。 村長 村民の皆さんにいずれかの判断をしてもらうことになるが、今後のことを考えると一人歩きができる財政状況ではないと考えている。例えば、給料を半分にして切り詰めながら自立していく覚悟があれば別であるが、質を落としてまで生活はできないと思う。

概要版 - 住民説明会（鶴居村 - 2003 年秋）

主 な 質 問 ・ 意 見	主 な 説 明 内 容
▼質疑 年配者は先のことがどうなってもあまり影響は無いが、その後の人（若年層）が（合併によって）どのような影響を受けるか心配だ。 ■意見 住民投票については、世代間で意見の偏りができる可能性があり、なかなか判断が難しいところなので必要ないと思う。最終的な判断は、何十年も村政を担ってきた実績と未来を見通す行政マンとしての勘を信じて、村長にお任せしたい。 ■意見 住民に合併の判断を求められても、なかなか意見はまとまらないと思う。村長や議会に村の将来のことをしっかり考えてもらい、より良い方向に引っ張ってってもらいたい。 ○合併協議会に関すること	村長 後世の人のために、皆さんには客観的に冷静な判断をしていただいて、より良い住み良い地域づくりのためにどうするかということを考えてもらいたい。
▼質疑 合併協議に参加している6市町村のうち、ひとつでも協議から抜けると合併はなくなるのか。 ○国や道の動きに関すること	村長 （合併協議に）残ったところで再度仕切り直して、合併協議を続けることとなる。
▼質疑 合併しなかったとすると、おそらく第2次合併推進計画というようなものを国が出してきて、更に（合併に向けて）締め付けてこないのか。	村長 平成17年4月以降、合併促進法という新しい法律が出て、おそらく、お話のような方向になってくるといえるということが予測される。

概要版 - 住民説明会（鶴居村 - 2003 年秋）

主 な 質 問 ・ 意 見	主 な 説 明 内 容
▼質疑 国からの圧力で、合併せざるを得ない状況になってきていると思う。 ■意見 合併しなければ、小規模な町村はやっていけないという状況。国の施策がそういう方向に向っていて、合併せざるを得ない状況になってきたのかという気持ちになっている。本音としては合併したくない。 ■意見 国の財政は厳しいので交付税を減らしたいと言っているのに、日本中の市町村が合併したら交付税を減らすことができなくなる。そのような話はいりえない。必ず合併しても交付税は減ってくると考える。そのような合併議論には反対である。もっと地域をどうするかということを考えるべきだと思う。 ■意見 国では、お金に困っていない人達ばかりが考えていることに納得できない。 人口1万人以下の自治体を消す考え方は、小さな自治体に足を踏み入れたことのない発想だと思う。 ○その他 ▼質疑 高齢化の問題が一番気になる。ひとり暮らしのお年寄りの方が都市に集中しているという報道を見た。それは、大きな病院に近い所	村長 強制的に（合併を）やらされるということでは、自主性というものが損なわれてしまう。地方分権の精神はそうではないはずで、自主自立の下に、潤いや豊かさというものを求めながら、みんなで力を合わせてより一層住みよい環境で生活できるようにすることが狙いだと思う。しかし、一方で、地方分権から発した行政改革でいうと、町村の数を減らすということになっている。 村長 高齢化が顕著に進んでいるのは皆さん承知のことと思う。都市的な人口形態の自治体にしていかねればというご意見のとおり、高齢者の医療・福祉対策といった面からも、合併が求められてくるのでは

概要版 - 住民説明会（鶴居村 - 2003 年秋）

主 な 質 問 ・ 意 見	主 な 説 明 内 容
に住みだしているということだった。生きていく以上、自分の余生は自分で守るところから来ているのだと思った。自分も高齢の一步始まりという気がするので、合併に賛成と言うまではいいにしても、村ではなく、もう少し進んだ町みたいな感じになって、今まで病院に行くにしてもかなり交通の便が悪いし、大きな病院も無いという不安を抱え持っていたので、合併することによってもう少し（高齢者の医療に関する）対策が充実するならば(合併も)あるだろうという気持ちはある。 ▼質疑 今までと同じではいけないとは誰しもが思っていること。それでも合併せず、鶴居村として何とかしたいということは誰でもそう思っていることだと思う。ただ、先ほどの村長の説明を聞くと、もう合併が決まってしまったのかという感じがした。 ▼質疑 今まで各市町村において切磋琢磨して、鶴居村は鶴居村、阿寒町は阿寒町で色々な行政の人、農協それから一般住民も交えた中で交流や努力をしてやってきた。鶴居村もロゴマーク等を作ってだんだん見通しが明るくなった。色々な面で希望が持てると思ってきたが、このようになって非常に残念である。 そこで、色々な地域で行政と地域住民と協力して各イベントを行ってきたが、今後ある地域だけに力を入れるような偏ったことはできなくなると思うが、その点どうなるのか。 ▼質疑 自立していく場合の村長の意気込みを聞かせてほしい。 ▼質疑 鶴居村は今後 10 年間やってもまだ倒産しない。これから 10 年存	ないかと思う。 村長 もし合併したら、鶴居村の持ち込む基金の一部を、鶴居村の地域振興のために使わせていただきたいということ。 村長 これからの地方分権というのは、そこに住む住民の方々がそれぞれ自分たちの自由な意識で合意が得られれば、行政の推進は自分たちの手で事を進め、自己責任でやって行こうという方向である。 イベント等については、地域の特色を利用して、地域の良さを知ってもらい、都市と農村の出入りを自由にし、地域をより良いものに建設していこうというのが狙いである。各市町村のイベントは、従前のとおり継続し交流の場として活用する。 村長 私が意思決定するよりも、住民の皆さんの意思決定で判断していくことが適切と考える。 税金などの自主財源も少なく単年度の収支は赤字であり、自立していくことは難しい。 村長 国の動きとして情報提供すると、この 11 月に地方制度調査会から合併特例法新法制定のための答申

（注）住民説明会での主な質問や意見等を事務局で要約したものです。

概要版 - 住民説明会（鶴居村 - 2003 年秋）

主 な 質 問 ・ 意 見	主 な 説 明 内 容
続できると思うがこのような考え方はどうなのか。 ▼質疑 合併によって何もかも無くなるのは淋しい。今まで私たちは良い生活をさせていただいたが、未来の子供たちがどうなっていくのか考えると心配な面もある。 ▼質疑 全国で合併した市町村は大半で過疎になっていると聞く。市街地の人達がこれからも商売をやっていけるのか心配だ。 合併して様々な機能が縮小されていくとすれば、自ら縮小しても生き残る道はないのか。 ▼質疑 合併した場合、予算は人口の多いところで使われていくのではないのか。 ▼質疑 もし、合併しなかった場合には、鶴居村はどうなっていくのか気がかりだ。	が出される。これまでの動きを見ると、昨年末に出された西尾私案では人口1万人以下の自治体では行政執行能力がないという見解を出している。これは効率的な行政ができる規模として考えられているもの。 こうした国の考え方で新しい合併特例法が次の通常国会に提案されると思われる。道内でも1万人以下の町村は174自治体あるが、新法ができると小規模町村の権限や事務が道や周辺の都市に返上するようなことが予想される。 村長 「お父さん、お母さんは良い地域づくりをして来た」というものをもって、世代交代するような時代形成をしてほしい。 村長 道内の自治体は人口規模だけでの合併議論に反対の姿勢でいるが、村の財政シミュレーションが示すように、自立は困難な状況にあることを客観的に考えていただきたい。 かつての合併では、中心部が栄え周辺部が寂れる状況になったが、これからは、最善の気配りをしながら都市住民をこちらに誘導するような住み良い地域づくりを進めていかなければならない。 村長 合併した場合、新市に本格的に移行するまで旧市町村の交付税基準財政需要額を配分するよう今後申し入れしたいと考えている。 総合行政センター長が強い権限を持てるように協議していきたい。 村長 国は非常に財政が危機的状況で、国の借金は平成15年度末までに700兆円を超えるだろうと言われている。総理大臣の諮問機関である「地方制度調査会」が、今後の地方制度のあり方などをまとめた最終答申が11月に出る。知り得ている情報では、自民党の地方制度を考えるプロジェクトチームでは、人口1万人以下の市町村は、あくまでも弱小市町村として位置付けし、合併させなければどうにもならないと言っている。一方、地方制度調査会でも、人口規模1万人以下の市町村の合併について最終答申を出そうとしているようだが、総務省では、昨年の全国町村会や全国町村議長の猛烈な反対活動を受け、「人口1万人」という下限を明確に位置付けることに苦慮しているようだ。 平成17年3月までに合併すれば、手厚い支援が行われ、合併しなければ、それ以後、新しい市町村

概要版 - 住民説明会（鶴居村 - 2003 年秋）

主 な 質 問 ・ 意 見	主 な 説 明 内 容
▼質疑 合併する市町村が受けられる、いわゆる"アメ"の部分は、鶴居村にも入ってくるのか。 ▼質疑 合併したら、この高齢化社会になって都市に集中するのではないか。 ▼質疑 合併した場合でも1次産業の酪農に力を入れると言うが、新市に持ち込んだ基金があるうちではないのか。合併したら様々な部分で都市部に集約されていくと思う。 厳しい財政運営をしてきている自治体と合併すると、なかなかお金は我々の方に回ってこないのではないのか。人口が多い方にお金の流れていくのではないか。 ▼質疑 説明どおりとすれば、（農業関連の）奨励金等がなくなり、生活がかなり厳しい状況になるだろうと認識できる。今は優遇された生	合併促進法を制定し、都道府県に合併に関する権限を渡し、強力で合併を進めていくことになるだろうと思われる。 村長 "アメ"とは、地方交付税の優遇を指している。合併後の地方交付税は新市に一括して入ってくるが、どこまでが鶴居村に見合う分なのか分からない面も多いので、合併の方向が具体的になれば、鶴居村の財政需要基準額分だけは優先的に鶴居村に予算付けするように、最低条件として申し入れしようと思っている。 村長 町村として一番心配なことである。従来までのきめ細かで行き届いた行政を合併しても期待できるのかということが、住民の皆さんの心配な点である。概要版でも言っているとおり、一次産業が基幹産業であり、この一次産業が元気で無ければ他の産業の活性化を求めることは至難である。都市化するところとしない周辺部が衰退するという格差があってはならない。概要版では、将来展望ということで、明るい方向を7つの目標にビジョンと定めて、お互いに新しい市となったときには、地域格差がまったく無いということにはならないにしても、それぞれの行政を進めていくこととしている。また具体的にはなっていないが、もし合併したとすれば、旧町村役場は、「(仮称)総合行政センター」として存続させたり、地域審議会というものを設置し、その区域の住民の行政に対する細かな要望を吸い上げ本庁に伝えていくということも考えている。また新しい市の議会でも取り上げることにより、地域格差の無いようになっているし、それを求めていかなければならないと思っている。 村長 これからの時代、効果的で質の高い行政をするには一定程度の人口規模がなければ行政執行は容易でないと考えている。このようなことから、住民の皆さんの意見を伺いながら将来を見極めていこうと考えている。どこの自治体も現状のまま行政執行したと考えていると思うが、大変厳しいところまで来ている。住民の皆さんにも客観的なものの考え方を持ってほしいと思うが、国の考え方が未だ明確でないため判断は非常に難しいのは事実である。 村長 税金は法律で決まっているので、税率を固定資産税のように引き上げることはできるが、ただ課税だけして負担する力がなく納められなければ意味が無い。合併しない場合は、その町村の自立云々によ

概要版 - 住民説明会（鶴居村 - 2003 年秋）

主 な 質 問 ・ 意 見	主 な 説 明 内 容
活に慣れきってしまっていて、この奨励金が無くなることによってどのくらいの生活水準になるのか想像がつかない。戦後の物資が少ない時代に近い生活をしなければいけないのか、そうはならないと思うが、しかし、色々な状況の中、合併ができなくなった段階で、我々の生活をどのように切り拓いて行かなければならないのかということを考えなければならないと思う。最近の報道によると、中国から安い農産物が輸入されるようになってくるなど色々な情報が入ってきて、我々の酪農は一体どうなるのかという不安が無いわけではない。 ▼質疑 村の自立シミュレーションでは、積立金で 15 年もやっていけるという。またそれを持ち込まなければならない合併であるなら、それぞれ努力されていることは十分わかったが、鶴居村が 15 年もあるいは 20 年も先まで頑張れる積立金を、釧路市と合併すれば、釧路市の生活保護費が年間 100 億円であるので、村の 60 億円の貯金なんて釧路市に持っていけば焼け石に水である。 合併の先が間違っているのではないか。元々 2,600 人の村が 20 万人近い市と合併することは、合併でもなんでもなくて吸収されることである。合併するなら、阿寒町や標茶町としたほうが良いのではないか。釧路市と合併することについては、合併ありきでなく、村民の腹の中を良く見た上で考えてほしい。 ▼質疑 鶴居村が大好きだ。鶴居村は世界的に価値のある財産と自然環境を持っている。村の財産 60 億円を持ち込み、合併して半分程度を新市に渡し、地元の議員が 1、2 名で村の意見が通ると思わない。モナコという国は小さいながらも頑張っている。鶴居村もその可能性はいっぱいあると思う。合併して幸せか。鶴居村はもっともっとやっていけると思う。	では若干浮動な税率になってくるのではないかと思う。本村は今までの税率を据え置く。住民税についても据え置くこととし、平均して 3 億円くらいの税収となる。 ご質問のとおり、生活水準を見直さなければならないのではといった点では、使用料や手数料の面で皆さん方に負担を求めているかなければならない。産業面で言うと、「草地改良促進事業」の補助金を半分位に削減しようとしているので、それについては負担増になると思う。また、乳検組合やペルパー組合への補助金でも協力していただきたいので、その分では皆さんの肩代わりということになる。 村長 財政的に弾力性のあるのは、釧路市が一番だと考えている。町村レベルで合併した場合、財政の弾力性は非常に脆弱になるのではないかと考えている。この辺を今後じっくりと考えていただきたい。 村長 鶴居の地には、明治の中頃に鉾が入れられて 100 年以上の歴史を持つ。陸の孤島といわれた時代から先人の努力によって頑張ってきた村である。 合併ありきの議論ではないので理解してほしい。合併協議会において、6 市町村で将来のあるべき方向を互いに勉強していこう、その上で合併問題を考えていこうとスタートしたものである。 地方分権やバブルの破綻から景気も落ち込み、回復しないまま現在に至っている中、公共事業を中心に社会資本を整備してきたため、（国では）700 兆円の借金を抱えている。 安心して次代に引き継ぐために行政改革が求められている中、基礎的自治体を最低 1 万人の規模として改革を進めようとするのが市町村合併である。

概要版 - 住民説明会（鶴居村 - 2003 年秋）

主 な 質 問 ・ 意 見	主 な 説 明 内 容
▼質疑 自立していく場合も、合併した場合も辛抱や我慢は同じと考える。自立していく場合、もっと具体的なデータがあれば、住民ははっきりと意思表示ができると思う。存続していく場合は、農畜産物加工施設の建設や運営は、企業感覚のある人に任せるようにすべきで、村が後押しするような体制でやれば経費節減を図る方法はあると思う。もう少し踏み込んだ合理化をすれば、小さな鶴居村が光って存続していけるかもしれない。できれば存続してほしい。 ▼質疑 合併問題が出始めた頃は、これからは合併しなければいけないのかと思っていた。しかし、だんだん（合併の可否を判断する）期限が迫ってきて、色々な事がわかってくると、かえって混乱しているような気もする。今では、合併しなくともやっていけるのではないかという気持ちが強くなってきた。 ▼質疑 介護福祉や色々な面で、まだ自分たちでやり方によっては節約できると思う。過去に厳しい財政状況に陥ったが、ここまで立ち直らせた実績を持つ村長が、今後の財政状況を一番よく認識しているのであろうから、その村長に自立が難しいといわれればそうなのかも思う。しかし、出来ればやっぱり合併はしたくない。 ▼質疑 新聞その他でも合併ありきというように感じたし、村長の話を聞いても大変ご苦労されて村民の利益を擁護するという努力に対して、感謝したいところであるが、私はこの鶴居村を無くすることには、非常に残念だし寂しいし、また鶴居村独自で、これほど努力す	なぜ、市町村合併問題の是非を急いで判断するのかといえば、仮に 17 年 3 月末までに合併すると地方交付税等の手厚い財政支援が受けられるからである。 村長 現在の税収が歳出全体で 6 % 程度しかなく、地方交付税に依存している財政運営である。地方交付税が削減され、税収の増加も期待できない中で、身を削られるような思いで財政シミュレーションを作成した。 合併すると村が持ち込む基金のうち 35 億円を財源として、合併後 10 年間は、従来同様のサービスを受けられるように他市町に要請をしているので、自立していく場合と若干異なる内容で行政サービスができると考えている。 今後の施設運営等は、できれば専門知識のある人などに施設を提供して、村が期待する運営をしていただくことが望ましいと考えている。全て村直営でやっていくことを考えているわけではない。 村長 鶴居村の自立ということでは、これでは十分な自立とはならない。 村長 開村からの先人の苦労を考えると、合併は考えたく無いが、自主財源が乏しく、細かい歳出の切り詰めを行っても財源不足が生じる。 村長 何とかやっていけるものなら自立したいが、村のシミュレーションでは毎年 4 億円ないし 5 億円の赤字が出るものの、何とか補てんは 60 億円のお金で帳尻を合せ、平成 23 年度まで 37 億円をつぎ込んで 22 億円程度残せる。しかし、その後、毎年 5 億円程度の赤字が出れば、その先 4 年ぐらい耐えることができ、平成 27 年度くらいまではいけるが、これは自立とは言えないのかも知れない。地方交付税は、

概要版 - 住民説明会（鶴居村 - 2003 年秋）

主 な 質 問 ・ 意 見	主 な 説 明 内 容
るならば自立も可能ではないか。介護保険が安くなることはありがたいが、そのくらいではないか。この国が進める市町村合併は、非常に強大な力であるから、鶴居村が合併してもしなくても、それ程変わらない。むしろ自立した方が本当に自主的な自治体経営をやっていけると思う。 帯広に幸福駅という場所があるが、昔大正村といって立派な自治体があったが、帯広市が大きくなって今は面影もない。鶴居村がそうならなければよいのだが。鶴居村は、タンチョウ、自然、湿原というもの全国ブランドとなっているわけで、あらためて釧路市となることは本来ないと思う。 ▼質疑 村の財政シミュレーションが出るというので楽しみにしてきた。具体的な数値は確定的なものでないということだが、歳入、歳出では5億円程度の赤字が出るということだが、よくこれで納まった。負担もあり、圧縮もするとのことだが、極端には歳入が半分近くになるわけで、これで行けるのならこれで良いのではないかと思う。また、実際には更に負担が増えるかも知れない。それから財政的に投資的経費が大きいという話があったが、もちろん必要なものは必要、直すものは直すことが大事であるが、例えば道路の舗装率は、鶴居村は低いデータであるが、それほど困っていない。またこんな山の中が舗装になっても、山菜取りかハンターしか歩かない。多分、こういうところで財政的に足りなくなっていくのではないか。ライフラインや生活路線であるところは大事であり、緊急性、必要性を考えてシミュレーションをしているとは思いますが、この数値が限定的ではないと思う。また、概要版はよく見えないし、中身が細くてイメージが出来ない。例えば施策に関しても、ほとんど要望とか、一部国事業とかこんなものなのかと思う。そういう点ではわかりにくい。今回の財政シミュレーションは、説得力がある。この程度の負担でよいのかと個人的には思う。今合併について色々な町村で行われているが、地域とか地方とかもう一度、もちろん金勘定も非常に大事であるが、そのところを含めて考えて見る必要があると思う。	昨年4%減で見て、本年は5%減ときつく見させてもらったが、使用料手数料の見直し、手数料の新たな負担、職員にも年間5%程度の人件費の削減に協力してもらうことで作成した。 村長 概要版では6つがひとつになった場合の建設計画であるので、どのように効果が反映されるのか、行政サービスではどういう質のよいものか展開できるのかわからないかも知れないが、これから極め細かに協議会で検討を加え、合併すれば新市の総合計画も策定され、その中で事業も個々に貼り付けていくことになるので、具体的に皆さんにお知らせできることになると思う。

概要版 - 住民説明会（鶴居村 - 2003 年秋）

主 な 質 問 ・ 意 見	主 な 説 明 内 容
合併というものは、人員削減が基本的なところであるものの、鶴居村の顔というものは捨てがたいと思う。 ▼質疑 釧路市の財政が悪いのに合併したら苦勞するだけ。鶴居村はきめ細かな行政をしてくれている。 村を愛して新しい考えを取り入れていけば、鶴居村はやっていけると思う。前向きに考えて村民の意見を吸い上げてもらいたい。 ▼質疑 住民アンケートの不満、意見の中にある雇用や買い物物の不便さなどは合併しても変わらないのではないかと思う。悪くなることが予想されると思う。 村の合併のメリットは介護保険料が安くなることぐらいではないか。現在の村の介護保険料は確かに高いかもしれないが、村民は不満を言っていない。それは他の行政サービスが充実しているからだと考える。合併した場合は、村民が優先して介護サービスが受けられる状況にはないと思う。この厳しい状況の中、気概をもってやっていけば自立してやっていけるのではないか。 ▼質疑 財政が厳しいのはわかるが、10 年経ってもまだ財産は残ることだし、贅沢を言わずなんとか我慢して鶴居村としてやっていけば、20 年後は世の中が変わるかもしれない。概要版には、大変結構な事が書かれているが、本当に実現するかどうかはわからない。自立シミュレーションのとおりでやっていけるのなら、鶴居村は鶴居村であってほしいと思う。 ■意見 できれば合併はしたくないが、今 60 億円のお金があっても 10 数年後の鶴居村はどうなるのか。仮に 5 市町が合併したあとに、鶴居	村長 村がおかれている現実を直視してほしい。決して後退とか消極的ではない。この鶴居村が明るい方向に前進することを願っている。説明している内容はあくまで時代背景からこのような状況にあるということを理解してほしい。 村長 十分発言の趣旨は理解する。合併した場合、厳しい状況に置かれることを予想する人が多いのは承知したが、そういうことを克服しながらより良い行政を求めるように知恵を出してほしい。 村長 自立のためのシミュレーションでは、合併しなかった場合、保育所に子供を預けない家庭でも、年間約 4 万円の負担が増えるという試算をしている。一方、合併した場合の利点としては、介護保険料が今よりも安くなることが挙げられる。

概要版 - 住民説明会（鶴居村 - 2003 年秋）

主 な 質 問 ・ 意 見	主 な 説 明 内 容
村を助けてほしいと言って仲間に入れてもらえるだろうか心配。 ■意見 基金や土地などの村民の貴重な財産を合併市町村に持ち込むことを考えると、すぐに合併賛成にはいかない。 双方の資料を見ると、老後を安心して暮らしていくことができるか心配。希望の持てる将来を考えてもらいたい。 ■意見 6市町村の合併議論は時代背景を見たうえでも生まれてきたものとする。郷土愛や先人の人たちが流してきた汗の結晶は失いたくない。村の行政サービスの低下は耐えられないという気持ちは多くの村民がもっている。 これからのことを総合的に考えていくと、従来の延長はもう考えにくい時代に入ってきた。この際、この地域が将来に向かって繁栄していける方向で合併を真剣に捉えていくことが必要であり、前向きに考えていくべきである。 町村の住民が、合併に踏み切れないのは釧路市の財政状況が起因している。釧路市は、東北道の拠点都市として新しい市に生まれ変わる気持ちを持ってほしいと願っている。これからは、合併ありきで前向きに議論してほしい。 村長が協議している合併後の基金の取扱いについても、酪農が発展していく地域として使われていくのであれば前向きに進めてもらいたい。 ■意見 鶴居が好きでここにやってきた。努力すれば何とかなると思っていたが、（自立）シミュレーションで8年後まで示され、それから後も更に厳しくなると思うし、自立したとしても平成17年度から負担が増えてくる。（合併すれば鶴居村の）基金を（鶴居村の地域の）産業振興のために有効に使うということだから、それも良いという気がする。見極めが難しいが、いつまでも意地をはって後世に	

（注）住民説明会での主な質問や意見等を事務局で要約したものです。

概要版 - 住民説明会（鶴居村 - 2003 年秋）

主 な 質 問 ・ 意 見	主 な 説 明 内 容
禍根を残すのも避けたほうがいいと思う。 ■意見 流れに沿って従うといった語弊があるかもしれないが、合併せざるを得ないことになってきていると思う。鶴居村が合併するということにはあまり賛成とは言えないが、妥協するしかないという気持ちもある。 ■意見 自立シミュレーションは、自立できるような内容になっていない。今日は合併して（この地域がどうなるのか）聞きに来たので、合併しないで鶴居村独自でやっていける資料があれば逆に見せて欲しいくらいだ。万が一、我慢してやっていこうということになって、平成 23 年まで借金を積み重ねて、財政運営が破綻した後に合併を申し込んでもダメだという説明を散々聞かされてきているから、今の時点で考えて、（合併か自立か）どちらかで選択する案があれば考えてもみる。 国の強硬な施策もあるし、自立していけないのであれば、合併することが得策ではないかと思う。ただ心配なのは、これからの一次産業について、地域を背負ってくれる代表（議員）が出てくるのかどうかということ。 ■意見 基本的に合併には反対だが、将来を見て考えないとダメなのかという思いがする。 ■意見 基本的には反対である。合併の目的は国の経費の削減である。こういう資料を作って説明しているが、よほど強い意見を持っていないと、この説明に気持ちが移って行く。うまく作っている。国の考えは、会社であればリストラみたいなもので、経費を削減して行くという大きな根幹がある。このような資料でうまくごまかされる気	

（注）住民説明会での主な質問や意見等を事務局で要約したものです。

概要版 - 住民説明会（鶴居村 - 2003 年秋）

主 な 質 問 ・ 意 見	主 な 説 明 内 容
がする。基本的には賛成とはいかない。 ■意見 交付税に代わり自由に使える財源が生まれてこない、全国の市町村は我慢できないと思う。合併は反対である。合併問題は矛盾に満ちているし、地方切捨ての施策であり北海道の農村の破滅である。合併したら益することがないことを住民は分かっているし、合併したら鶴居村の人格がなくなる。合併の効果として特別職や議員等の人件費が削減されるというが、無用の長物と言わんばかりの考え方である。 村の基金 60 億円をどんな苦勞をして積み立ててきたか。小さい町村ほどふるさとづくりに熱心に取り組んでいる現れである。合併協議会のアンケート調査でも鶴居村の満足度は非常に高い。他市町はほとんど不満が強い。それだけ行政が行き届いていない。そういうところに合併して入っていく必要がないと思う。 ■意見 10 年、20 年後が心配。現状の鶴居村は恵まれているが、今よりも豊かさを切り詰めて、箱物よりもソフト面で鶴居村らしさを発揮して独自にやっていくべきと考える。 ■意見 合併するということは合理化するというので、これまでのように（住民サービスが）きめ細かで手厚いものにはならないのが合併であり、最低限を守っていくのが合理化である。今の鶴居村の状況は最低ではない。進んだ生活レベルや行政サービスが確保されている。実際に都市生活は釧路市や釧路町で守られ、地方が合併合理化で犠牲になる宿命があると思う。 広大な面積に対応する具体的な行政機構や、これまで以上の行政サービスができることを示してもらわないと住民は不安である。 村が自立していく場合のシミュレーションで現行より住民負担が多くなっても、これまでの行政サービスが確保されれば、住民負	

（注）住民説明会での主な質問や意見等を事務局で要約したものです。

概要版 - 住民説明会（鶴居村 - 2003 年秋）

主 な 質 問 ・ 意 見	主 な 説 明 内 容
担に耐えられないという状況にはならないと思う。慌てて合併をすることはないと思う。 合併後 10 年間の交付税は特例で守られるというが、それ以降がどうなるのか分からないが、理事者や議員の判断について行く考えでいる。 ■意見 （概要版と自立シミュレーションの）両方を比べてみたが、経済的負担はどちらもあまり変わらないように思う。ただ、ひとつの単位の規模を大きくすることを目指しているが、それでは国がだめになってしまうのではないかと思うので、本来ならば合併は嫌だ。それから、誰しものが何かあれば実家に帰りたいように、村は日本の中で実家のような感性があるところ。それを無くしていこうとする国の政策が嫌だ。日本の中にどこか村のような所を残すことも、将来の子ども達のためには大事なことだと思う。	